



(会場：上下中学校)

議員と語ろう

◎コロナ禍でも「議員と語る会(議会報告会)」を開催!

11月8日(日)と11月15日(日)の両日、議員と語る会(議会報告会)を開催しました。例年、市内公民館等8会場で夜間開催していましたが、今回は、コロナ禍での開催ということもあり、3密を避けるため広い会場を用意し、市内学校体育館4会場で昼間開催しました。

内容は、「議会改革の取り組み状況」と「新型コロナウイルス感染症への対応」について、ご報告しました。その後、ご参加の皆さまからグループごとにご意見・ご要望等を伺い、議員と意見交換をいたしました。

コロナ禍にもかかわらず、またお休みのところ、ご参加いただいた皆さまに心から感謝申し上げます。会場での感想をいくつか紹介させていただきます。

◎会場でいただいた感想より(抜粋)

- ・多くの意見が出て大変良かったと思う。
- ・市民参加の取り組みが必要と考える。農業ビジョンの会議に上下町の農業者を参加させてほしい。
- ・議員報告会ではなく、市民の意見を聞く会にしてはどうか。
- ・「議員を知る会」というのが実質かと思う。

- ・そうであれば、夜間議会を開く方が、意義がある。また、議員個々の思いや政策を聞く機会も設けてほしい。
- ・初めて参加した。議会に対して関心をもって市政報告等を見て行こうと思った。
- ・町内会ごとに、年1回くらい開催してほしい。

- ・本日聞いた子育て支援策について、実現されることを期待する。議員の仕事内容を若者に知らせる方をしっかりとやっていただきたい。
- ※今回いただきましたご意見・ご感想等は、ホームページに掲載しております。

12月議会

令和2年度府中市一般会計補正予算等を可決!

12月定例議会は、11月30日から12月15日までの16日間開き、議案15件、意見書3件を審議、議決しました。

主な議案

- ・令和2年度府中市一般会計補正予算(第8号)について(駅周辺の賑わいづくり事業に係り、4億3,452万4千円の繰越明許費を追加する) 
- ・令和2年度府中市一般会計補正予算(第9号)について(歳入歳出それぞれ4億4,039万円を追加し、総額285億453万6千円とする) 
- ・府中市観光・まちづくり基金条例の制定について(寄附金等を基金として積み立て、観光やまちづくりに関する諸施策に要する経費の財源とする) 
- ・令和2年度府中市病院事業会計補正予算(第2号)について(国の予算を活用して、コロナ対策に必要な物資の購入、施設の修繕等を行う経費の一部とする) 

議員提出意見書案

- ・教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書の提出について 
- ・コンビニ交付サービスを活用した罹災証明書の交付を求める意見書の提出について 
- ・住まいと暮らしの安心を確保する居住支援の強化を求める意見書の提出について 

一般質問

Q & A

12月3日、4日 12人の議員が
市政を問う！



公明党
加島 広宣

市内農業への取り組みと展望

農業従事者の所得向上に向けた取り組みと、今後の展望を伺う。

営農規模の拡大やICT活用、低コスト化、ブランド化、高付加価値による販路拡大、農家レストランなどで収益の向上を図りたい。今年度中には農業振興ビジョンを策定し、その中で農業の現状課題を整理し、産業連係室や大学との連携も視野に入れ、スマート農業やアグリビジネスなど農業の可能性を追求していきたい。



公明党
大本 千香子

翁座取得の意義と今後の活用

恋しき・翁座の2つの歴史的建物を市が取得し運用することになったが、今後どのように整備し、府中市のシンボル、ランドマークとして活用されるのか。

歴史的文化的価値の調査や耐震性、安全性の調査も踏まえて、市民に活用され、多くの交流人口を生む重要な文化財、観光資源として保存整備し、積極的な活用を計画的に行っていきたい。市民へのPRも含め今後、更に情報発信も検討したい。



市民クラブ
土井 基司

恋しきの活用と費用対効果

復元修理は保存が目的であり効果は100%なので、費用対効果を問われない。その上、来訪者が増えればプラ



市民クラブ
水田 三幸

三玉プロジェクト

上下保健センターとの機能分担はどうなるのか、また住民説明会は開くのか。

旧三玉病院を上下地域の子育て、介護、障害者等の総合相談窓口とする。上下保健センターも旧三玉病院に移転するが、乳児検診は医師との連携上、現在の保健センターで行う方向で検討中だ。成人健診場所も同様である。計画は来年2月の実施設計終了後、入札。令和3年度中に工事完了、令和4年春にオープンする。住民説明会は開催する方向で検討している。



市民クラブ
芝内 明

コロナ感染症対策事業における町内会支援メニュー

町内会費徴収も厳しくなると想定されるコロナ禍のもとで、各町内会に非接触型の体温計を配布したり、集会所などの換気状況を調べて改修したりするなど、府中市のコロナ感染症対策事業に、町内会への支援メニューを新設することができないのか。

今のところは、町内会を対象とした支援はない。今後は、新しい生活様式のなかでの活動を進めるうえで、町内会から要望を聞きながら支援についても検討してまいりたい。



創生会
橋高 尚裕

観光ビジョン

市の役割と具体的な取り組み内容を伺う。

市の役割としては、まず施策の立案・進捗管理、市予算の確保を主に行うことである。また、観光事業者、市民、地域団体等オール府中での推進体制を構築していきたい。具体的な取り組みとして、コロナ禍の影響で事業の着手が遅れたものの、市民向け観光振興セミナーを開催し、観光へのおもてなし意識の向上に取り組んでいるところである。



創生会
本谷 宏行

駅周辺の賑わいづくり

図書館を含む府中駅周辺等の整備について伺う。

図書館前広場及び駐車場の整備は今後5年で実施していく。また、駅を中心とした駅前広場、駐車場、駐輪場、おもてなしトイレなどを含む整備については、JR西日本を中心とした関係機関協議が必要と考える。ポムポム隣接のこどもの国公園については、本年中に方向性を固め、令和3年度から公園及びトイレの整備について着手できるよう調整をしている。



創生会
加納 孝彦

GIGAスクール

全児童・生徒へのタブレット貸与について、現状と今後の取り組みについて伺う。

全国自治体の7割が年内に納品が完了しないことが見込まれる中で概ね計画通りに進捗している。児童・生徒や保護者等に対して、早期貸与の効果・意義の確認をしながら、現在の感染症の状況や学年の実態を考慮して、1月以降3学期中を目標に、持ち帰り活用の取り組みを進めていく計画を立てている。



創生会
たなべ のる 穂
田邊

協和地区デマンドタクシー

Q 協和地区ではボランティア運転により玄関から目的地までの完全デマンドタクシーを運行しているが、市としてどう支援していくのか。

A 「協和元気タクシー」は、地域の支え合う取り組みで、コミュニティ向上に寄与している。協和地区のように人口密度が低い地域ではデマンド交通を安定して継続することは経費的にも難しい。安全性の確保や車両維持管理にかかる経費への支援について前向きに検討していきたい。



創生会
やまぐち こうじ
山口 康治

桜が丘団地モデル住宅事業

Q 桜が丘子育て応援モデル住宅事業の補助金等について問う。

A 子育て応援モデルは、建築業者に対する補助が300万円、販売価格は土地・建物・税込みで2350万円以下、4kW以上の太陽光発電の設置、子育てに関する工夫を凝らした家づくり、購入者は40歳以下の夫婦または義務教育以下の子供を有する世帯とする。また、展示期間として建築後6カ月、及び最低2回の見学会への参加を条件としている。



創生会
もりかわ のる 穂
森川

ごみの分別・リサイクルへの対応

Q 国の新制度として「プラスチック資源」の区分が設けられ、2022年度以降から一括回収することになるが、府中市はどのように対応していくのか。

A まだ全容が明らかになされていないので具体的な検討に至っていないが、ごみの分別区分や回収方法などについて、有効な手段を考案しながら、国による市町村への負担軽減策などの動向を注視し対応していく。



日本共産党
おかだ たかゆき
岡田 隆行

特別教室や体育館へのエアコン設置

Q 子どもたちの命と健康を守るために、理科室や図書室、音楽室などの特別教室や災害時には避難所となる体育館へのエアコン設置はできないのか。

A 理科室など特別教室へのエアコン未設置の学校から要望はある。文科省も教育環境改善に取り組む見解である。空調設置に関する国の補助も計画されているので、その動向も見通しながら、府中市も計画的に取り組んでまいりたい。

委員会・分科会での審議

総務文教委員会

・付託議案はありませんでした。

予算特別委員会 総務文教分科会

・令和2年度府中市一般会計補正予算(第9号)について

Q 市民生活総合アプリ構築事業を簡略的に表現するところなるのか。また、同じように導入している他の自治体での課題等について説明を求める。

A 様々な情報をタイムリーに届ける行政サービス事業であり、平常時、災害時の住民との双方向のコミュニケーションをつくる道具と考えている。他の自治体における課題としては、アプリ基盤を単独で構築し導入したが、度重なる機能追加費用やバージ

ョンアップ費用が発生するという状況があった。府中市では、機能面だけを独自で開発する想定で、アプリの基盤は他の自治体や一般民間企業と共同使用し、追加費用の削減を考えている。

Q アプリの基盤を他の自治体と共有するとは、費用を折半するイメージか。また、保守経費はどの程度見込んでいるか。

A アプリ基盤の使用料は月額20万円程度を想定している。サーバー管理費、セキュリティ対策費、バージョンアップ対応費用などを含めた保守契約で、突発的な多額の費用の発生は想定していない。

Q 教育振興費の通信運搬費765万2000円の内訳と事業効果について問う。

A 一つは、LTE回線利用の通信費609万2000円を計上している。これは、3学期には端末を家庭へ持ち帰り、学習を深めるにあたり、2600台の端末に対し、1月当たり5ギガで3カ月分に相当する額を見積って計上している。もう一つは、校内無線LAN専用のインターネット回線の整備費156万円を計上している。従来の校務系あるいは学校事務系のネットワークと、学習系のネットワークを切り分けることで安定したインターネット環境を構築でき、セキュリティ面の強化にもつながる。

厚生委員会

・令和2年度府中市病院事業会計補正予算(第2号)について (原案可決)

Q オンライン資格のシステムについて、患者の待ち時間を含め、利便性が高まるということだが、患者側は健康保険証機能が含まれているマイナンバーカードを持参すればいいのか、それとも健康保険証だけでもいいのか。

A 利用方法については2通りあり、一つ目は、来年3月に稼働予定の健康保険証の機能を含むマイナンバーカ

ードを、患者が窓口を設置してあるカードリーダーで読み取らせる。二つ目は、従来どおりの健康保険証を提示し、病院職員が健康保険証の記号番号を端末に入力する。そうすることにより、直ちに資格確認ができる。よって、3月稼働後は、従来の保険証の提示でも、保険機能のついたマイナンバーカードでも医療保険は受けられる。

Q PRや情報発信が出来ていないように思うが、マイナンバーカードによる利便性が高まることを含め、このシステムの導入との関係で、マイナンバーカードの普及について何か考えているのか。

A 医療機関においてマイナンバーカードを利用して、情報が即座に確認できるシステムは利便性という意味では大きなメリットがある。府中市民病院や、府中北市民病院においても、同様の仕組みを3月までに導入できるように取り組を進めている。府中市のマイナンバーカードの普及率は20%程度にとどまっているため、受け入れ側の機器だけを整備しても、マイナンバーカードの普及が伴わないと利便性という意味では向上しない。メリットを十分に周知し、他の医療機関においても導入が進むよう、これから取り組

みを進めていきたい。

予算特別委員会 厚生分科会

・令和2年度府中市一般会計補正予算(第9号)について

Q 総合窓口システムは、どういった窓口業務を想定しているのか。また、この予算はどこまでの構築費用か、ランニングコストを含め伺う。

A 総合窓口システムは大きく二つに分けられ、一つは、住民票、印鑑証明、戸籍謄・抄本、課税非課税証明、所得証明、納税証明などの取得に必要な電子申請機能。二つ目は、出生届や乳児医療の受給者証、児童手当、国保の加入や年金加入届など、他課にも関わる説明や相談を伴う総合申請機能である。したがって、窓口の機能が明確に区分化され、よりわかりやすくなる。また、職員側にとっても市民対応が明確になり、市民の方の利便性も向上し、業務効率も向上する。また、今回の構築費用とランニングコストについては、現在稼働している総合行政システムの拡張としてのオプション機能となり、ソフトの導入及びタッチパネルなどの機器一式の初期費用となる。今後のランニングコストについては、ソフト及び導入機器のハード部分

を含め、年間400万円程度になる見込みである。

Q 地域密着型サービス拠点整備事業として、簡易陰圧装置の設置予定として5施設の介護施設とはどういった施設か。

A この補助金は、広島県が新たに介護施設等における簡易陰圧装置設置経費支援事業として、補助メニューが追加されたことに伴い、対象となる入所系の介護施設に意向を確認し、要望のあった5施設に補助をするもので、具体的な設置場所は、特別養護老人ホームが2施設、介護老人保健施設が1施設、介護療養型老人保健施設が1施設、短期入所生活介護事業所が1施設、計5施設に補助をしていく。

建設委員会

・府中市観光・まちづくり基金条例の制定について(原案可決)

Q この基金は、具体的にどのような事業に充てるのか。

A 今回の指定寄附金の使途については、大規模な建設や改修事業への充当ではなく、恋しきや翁座など歴史的建造物の保存・活用を中心に、

ハード、ソフト事業として、町なかのにぎわいづくりに使いたい。具体的に想定している事業は、恋しき・翁座など歴史的価値が高い施設の保存・活用、観光客等の誘客につながるソフト事業などの魅力づくりの事業、恋しき周辺の中心市街地や上下白壁の町並みへの回遊性増加につながる事業として電動アシスト付レンタサイクルの導入、関係人口・交流人口の増加につながるものが期待され、まちづくりに寄与する空き家のリノベーション事業、そのほか、府中市観光振興ビジョンのアクションプランに掲げる観光の体制づくり、地域資源の観光商品化、受け入れ環境整備、プロモーション活動などである。

Q 条例に「基金は寄付金その他収入をもって積み立てるものとし、その額は一般会計歳入歳出予算で定める額」となっているが、どのように考えているのか。また、恋しきへの出資金の返還金を、なぜ今回この基金へ積み立てなかったのか。

A 基金の目的は恋しきに限らずということではあるが、今回のきっかけは、恋しきを守っていくという中で、御厚志をいただいたため、第一義的には恋しきを念頭に置

かざるを得ない。単に維持管理だけで使っていくのではなく、恋しきで言えば庭園の整備などのほか、出口・府中町かいわい、翁座など諸々が控えているので、予算審議を通してしながら、しっかり有効に活用していきたい。この基金は使い切ったら終わりというところではなく、これからの新しい資金調達として、ふるさと納税、企業版ふるさと納税、クラウドファンディングなどを活用し、新しく賛同者を募りながら、基金に積み立てるよう考えている。株式会社恋しきの清算金の扱いについては、これまでの出資金に対して清算金があったという予算上の整理を今議会で行い、今後の議会において、基金へ積み立てる。

予算特別委員会 建設分科会

・令和2年度府中市一般会計補正予算(第9号)について

Q 5Gの環境を整備することで、どういったことが実現できるのか

A 天満屋活用事業においては、第1期整備としてネウボラ、屋内広場等の整備を進めているので、医師によるオンライン診療・相談、広場での遠隔地同時コンサート、多目的スペースでのオンライ

ン会議や講座等を想定している。また、5Gの特性である通信速度、多接続、低遅延を生かし、VRやARといった最先端技術の体験やVチューバー等の最新コンテンツの制作、大学等と連携したりカルト教育の実施などにより、自己実現の達成や市民のチャレンジを後押ししていく。

Q 今回の通信環境の中では、天満屋の建物内や道の駅で使用することは不可能か。

A このたびの5G基地局のエリアは限定されているので、道の駅や、駅周辺のエリアには電波は届かないが、順次、事業者が5Gの基地局を整備すると聞いている。時間は少しかかるかもしれない

が、府中市全域が5Gで網羅されると考えている。

Q 観光地スマート化推進事業補助金、補正3件分の根拠は何か。

A 県への申請は現在手続き中である。1点目は、農事組合法人井永による、野菜などを販売する法界山直販センターの観光地化のためのトイレ改修、2点目は、府中八幡もみじの森づくり実行委員が、もみじの森の観光地化を目指した府中八幡もみじの森へのトイレ整備、3点目は、地域の伝統文化として阿字和紙の紙すきを継承し、観光地づくりに取り組んでいる協和地区のトイレ整備である。

討論議案

議案第100号

令和2年度府中市一般会計補正予算(第8号)について

反対討論

日本共産党 岡田 隆行

天満屋2階活用の予算を来年度に繰り越す前に、もう一度事業自体を見直すべきではないか。この事業が今後どのような規模の予算を費やすものになるのか、また効果はどうかなど、その見通しも明らかにされていない。性急に事

賛成討論

公明党 大本千香子

業を進めることは、多くの市民の納得と合意は到底得られないとし反対する。
①コロナ感染症拡大の影響によるもので市に特段の瑕疵はないこと。

②事業推進にあたり主体の天満屋との緊密な連携が取れており問題は見当たらないこと。

③2021年7月オープンに向け、早急な入札の必要性等これ以上の遅延は避けたいこと
以上3点の理由で賛成とする。

賛成討論

創生会 加納 孝彦
天満屋2階の譲渡されたスペースにかかる改修費用の繰り越しであり、来年7月オープンに向けた事業である。

市民の不利益にならないよう、必要ならば臨時会を開いて事業を進めることに何ら問題は無いと考える。民間との協働で市民の集える場所ができることに期待をし、賛成とする。

議案第101号

令和2年度府中市一般会計補正予算(第9号)について

反対討論

日本共産党 榎崎 征途
5Gは、来年8月ごろには府中駅周辺までサービスエリアが拡大する。あわせて来年12月には全市に光回線が行き渡る。性急に1600万円も

かけて天満屋2階一部行政エリアに5Gの屋内基地局を設置する必要はないと考える。「はじめに天満屋2階活用ありき」の進め方には反対である。

賛成討論

公明党 加島 広宣
補正予算の中には新型コロナウイルス対策費用に多くの施策が盛り込まれていて、市民の、今まさに必要とされている方への支援でもある。また、官民連携して行う5G整備も地域社会の発展とにぎわいの創出をはかる、夢の広がる情報インフラ整備予算であり必要であると考える。したがって、本議案に賛成する。

賛成討論

創生会 加藤 吉秀
天満屋2階の行政エリアに5Gの基地局やWiFi環境を整備することは、今後府中市が、スマートシティを目指すという方向を明確にするものであり、アフターコロナに向けたデジタル化の整備であり、市内経済界との連携も行われていて、様々な事業の展開へ進むことが考えられる。本市の発展にもつながるので、賛成する。

令和元年度決算に係る事務事業に対する提言

所管常任委員会	事務事業名	今後の方向性	事務事業に対する提言
総務文教委員会	災害対応力強化事業	一部見直しのうえ継続すべき	市民向けの情報伝達手段の充実が必要である。府中市防災メールや、一斉架電のシステム等の普及拡充を図られたい。
	地域IoT計画策定・推進体制構築支援事業	一部見直しのうえ継続すべき	必要な事業と考えるが、分野ごとの地域課題解決にどのようにIoTを活用するのか、この事業により何ができるのか、詳細な実施計画を早急に策定し明示されたい。
	「学びのセーフティネット」構築事業	一部見直しのうえ継続すべき	部活動支援員については、効果的な活用を図るとともに、市内全中学校への配置に向けた取り組みとして展開されたい。特別教育支援員の配置については、個々の事例に合わせて、有資格者の採用も含めて検討されたい。
	ドローンに特化したファブラボ整備事業	抜本的な見直しのうえ継続	この事業には一定のニーズがあることは認めるところである。事業を継続・発展させるに当たり、事業収支評価が行われていないので、目的に即した運営がされているか早期に検証されたい。また、運営体制と運営場所の変更も含め検討されたい。
	スポーツによる魅力あるまちづくり(芝生グラウンド)事業	抜本的な見直しのうえ継続	当初の計画に進捗が認められないことから、候補地も含めて白紙に戻し、再検討されたい。
	移住・定住促進事業	休止・廃止すべき	何年間も一部見直しを行いながら継続してきた事業であるが、事業効果はまったく見えないため廃止されたい。現段階においては、府中市の魅力オール府中で磨き上げることが先決である。
厚生委員会	府中版ネウボラ(子育て総合相談拠点)設置事業	現状のまま継続すべき	妊娠期から子育て期までの一貫したサポート・相談窓口としてより充実させるため、多職種との連携を強化し専門性の確保を図られたい。また、働く母親が相談しやすい時間帯の検討やオンライン相談の拡充等を検討されたい。
	放課後の児童の居場所づくり事業	現状のまま継続すべき	子どもの居場所づくりと親の就労支援の事業として定着してきているが、各事業の取り組みに地域差があるのではないかと。必要な支援員を確保し、関係機関と連携を図られたい。
	三玉プロジェクト(上下地域包括ケア拠点施設整備事業)	抜本的な見直しのうえ継続	事業として必要だが、地域住民のニーズをさらに確認しながら真に住民のためになる施設として検討されるべきである。補助金と過疎債で市の負担は軽減される事業となっているものの、費用対効果を含め抜本的な見直しをされたい。
	サービス付き高齢者向け住宅入居者支援事業	一部見直しのうえ継続すべき	地域包括ケアの一環として必要な事業であるが、さらなる経営努力で損益分岐点を越えるよう努められたい。
	医療体制確保事業	一部見直しのうえ継続すべき	医療提供体制拡充のために必要不可欠な事業である。その効果を十分発揮できるようきめ細かい対策を取られたい。
	湯が丘病院基本構想策定事業	一部見直しのうえ継続すべき	将来構想検討委員会において積み残された課題について早急に整理し、問題を明確にした上で建て替えスケジュールを明示されたい。
建設委員会	桜が丘団地子育て応援モデル住宅販売事業	休止・廃止すべき	団地販売促進の手段として一定の評価はできるが、販売促進に直結したものとは言い難い。また、ニーズに合致しない住宅は費用対効果が低いと考える。今後、コロナ禍で販売は苦戦すると予想され、販売価格の更なる値下げを行うとともに、本事業を廃止し、インパクトのある事業を検討されたい。
	産業振興ビジョンの策定	現状のまま継続すべき	策定委員会やワーキンググループにより、多くの意見が反映されたものとして評価できる。今後はビジョン策定で終わることなく、ビジョンに掲げる目標を達成するためには、産業関係者のリーダーシップが必要不可欠であり、そのために、産業関係者の機能をさらに拡充されたい。
	地域活性化に向けた公共交通の構築	休止・廃止すべき	高齢化社会や核家族化が進展する中、公共交通の必要性は高まっているものの、利用者も少なく、期待していたスマートフォンによる予約がなく、オンデマンド交通の検証となっていない。本事業の取り組みは廃止し、地域のニーズ調査を行ったうえで、利用しやすい公共交通としての取り組みを実施されたい。
	上下地域の観光振興事業(上下プログラム)	一部見直しのうえ継続すべき	外国人観光客の来訪は必要なことではあるが、目に見える効果を期待するためには、国内での来訪者に対する取り組みを優先し、収益をあげていただきたい。翁座について、上下地域全体の観光ビジョンを明確にしたうえで、活用方法を早急に決定すべきである。ただし、復元改修は、費用対効果が極めて低いため休止し、例えば、見物施設とするなど、費用対効果が比較的高い活用法を検討されたい。
	駅周辺の賑わいづくり	現状のまま継続すべき	駅周辺の賑わいづくりは、長期間停滞してきた課題解決の取り組みとして必要である。また、府中天満屋のネウボラと屋内広場は順調に進んでいる。府中駅から国道まで抜ける道路を整備するなど、最大限の効果を発揮するよう継続して取り組まれたい。

12月議会での各議員の議決結果 (賛否が分かれたもの、主なもののみ掲載しています。詳細は府中市ホームページをご覧ください)

議案名	議員名																				
	棗田 澄子	芝内 則明	福田 勉	森川 稔	広瀬 和彦	安友 正章	岡田 隆行	榑崎 征途	土井 基司	水田 豊	加納 孝彦	山口 康治	本谷 宏行	三藤 毅	加島 広宣	大本千香子	田邊 稔	橋高 尚裕	加藤 吉秀	丸山 茂美	
専決	専決処分の承認を求めることについて(令和2年度府中市一般会計補正予算(第7号))	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人事	教育委員会の委員の任命の同意について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
条例	府中市観光・まちづくり基金条例の制定について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
条例	府中市一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
予算	令和2年度府中市一般会計補正予算(第8号)について	-	棄	○	○	○	○	×	×	棄	棄	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
予算	令和2年度府中市一般会計補正予算(第9号)について	-	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
予算	令和2年度府中市一般会計補正予算(第10号)について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書	教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書の提出について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書	コンビニ交付サービスを活用した罹災証明書の交付を求める意見書の提出について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書	住まいと暮らしの安心を確保する居住支援の強化を求める意見書の提出について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

(一議長は採決に加わらず、欠は欠席、×は反対、○は賛成、棄は棄権、除は除斥…本人等に関わる議案については審議に参加できないこと)

いざというときにも落ち着いて対応
—府中市議会 AED講習会—



AEDを使えば助かる命があります。傷病者を発見した際、慌てず対処するためには日ごろからの訓練が大切になってきます。

府中市議会も11月に2班に分けて講習会を実施。福山地区消防組合府中消防署より職員の方に来ていただき、約2時間講習を行いました。こうした技術を使う場面がないに越したことはありませんが、将来にわたっていかなる場合にもしっかりと対処できる心構えが必要と考えます。

令和2年の「今年の漢字」は「密」が選ばれました。昨年は新型コロナウイルス感染症が拡大し、「3密」という言葉が使われ、多くの人が常に「密」を意識しながら生活するようになりました。

新型コロナウイルス感染症の終息がまだ見えない中で、改めて医療従事関係者の皆さまに感謝、お礼を申し上げます。

さて、2月2日が今年の節分です。そして立春を迎えます。「鬼は外! 福は内!」と力強く鬼退治。さらに新型コロナウイルス退治を願います。

今年は第5次府中市総合計画「しあわせ府中2030プラン」のスタート。計画実現に向けて、私たち議員も頑張っています。

令和3年が皆様にとっても、また府中市にとっても良い年になりますようご祈念申し上げます。

(福田)

編集後記

議会だよりへのご意見・ご感想お待ちしております。
TEL(0847)43-7171
FAX(0847)45-3212

議会の動き(10~12月)

- 10月8日 建設委員会(所管事務調査)
- 10月8日 厚生委員会(所管事務調査)
- 10月9日 広報広聴特別委員会(編集作業、議員と語る会準備)
- 10月12日 賑わいづくり特別委員会(進捗状況、今後の取り組み報告)
- 10月15日 総務文教委員会(所管事務調査)
- 10月19日 広報広聴特別委員会(議員と語る会準備)
- 10月21日 建設委員会(所管事務調査)
- 10月22日 総務文教委員会(所管事務調査)
- 10月22日 厚生委員会(所管事務調査、意見交換会)
- 10月23日 広報広聴特別委員会(議員と語る会準備)
- 10月26日 議会運営委員会(所管事務調査)
- 10月26日 厚生委員会(意見交換会)
- 10月28日 広報広聴特別委員会(議員と語る会準備)
- 10月29日 建設委員会(所管事務調査)
- 10月29日 全員協議会(執行部からの報告)
- 10月30日 議会運営委員会(定例会の運営)
- 11月8日 議員と語る会(上下中学校会場・第一中学校会場)
- 11月15日 議員と語る会(府中明郷学園会場・府中学園会場)
- 11月17日 総務文教委員会(所管事務調査)
- 11月18日 建設委員会(所管事務調査)
- 11月24日 議会運営委員会(定例会の運営)
- 11月24日 厚生委員会(所管事務調査)
- 11月30日~12月15日 12月定例会
- 12月15日 議会運営委員会(定例会の運営)
- 12月15日 全員協議会(執行部からの報告)
- 12月15日 広報広聴特別委員会(編集作業等)
- 12月22日 広報広聴特別委員会(編集作業等)

